



様式第8号(第12条関係)

和光市協働事業完了報告書

2014年 4月 17日

和光市長 様

団体名 特定非営利活動法人わこう子育てネットワーク
所在地 和光市丸山台3丁目1番23
代表者名 代表理事 森田 圭子



平成25年4月1日付けで契約を締結した協働事業が完了しましたので、和光市協働事業提案制度実施要綱第12条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 協働事業の成果

事業名	和光市ホームスタート事業
事業費総額	1,007,857円
事業期間	平成25年 4月 1日から 平成26年 3月 31日まで
実施場所	和光市内
参加者数	ビジター育成数 15名 支援家庭数 24家庭
事業実施内容及びその成果	<p>【事業実施内容】</p> <p>●<u>ビジターフォローアップ講座</u></p> <p>1回目 4月23日(火) 白子コミュニティセンター V5名 OG3名 ホームスタートわこうの現状報告、詩『今日』子育て中のおかあさんへ 紹介、ビジターの近況報告、本年度の予定、最近の訪問について(支援センターでの対応等)</p> <p>2回目 7月11日(木) 保健センター V3名 OG3名 講演「専門職が連携して、児童虐待を予防し、早期発見をするために」松岡太郎先生(小児科医師 豊中市健康福祉部保健所 参事 兼 保健予防課長)</p> <p>3回目 10月30日(木) サンアゼリア会議室 V2名 OG3名 第4期ビジター養成講座7日目、修了式、交流会での情報交換</p> <p>4回目 11月30日(土) 東京未来大学 V8名 OG2名参加 講演「HSビジターによる無償支援の強みとは」野田敦史先生(東京未来大学 子ども心理学部教授) ビジター交流</p> <p>5回目 2月26日(水) 市役所401会議室 V14名 OG8名 上級傾聴演習 竹部友子先生(臨床心理士)</p>

	<p>「子育て家庭のサポートにおける協働」中田典子さん(保健師) 「体験発表」利用者2名 ビジター1名 「当事者が当事者を支える意味とは」林浩康先生</p> <p>●トラスティ会議開催 第1回 10月22日(火) 18:00～ もくれんハウス 8名 第2回 3月26日(水) 14:00～ 中央公民館 7名 事業進捗状況、活動報告、活動への助言、</p> <p>●スーパービジョン 随時 困難なケースが発生したときに随時相談、 スーパービジョンミーティング 2/26午後開催 竹部友子さん(臨床心理士)</p> <p>●周知活動 ・民生児童委員児童部会へのホームスタート説明会 6/21 市役所 ・1歳6カ月児検診 保健センター (初回 0G2名、以降0G1名で担当) 4/25, 5/23, 6/27, 7/25, 8/22, 9/26, 10/24, 11/28, 12/19, 1/30, 2/27, 3/13 ・コープみらい主催での説明会 3/12 中央公民館 24名</p> <p>【成果】 ・今年度、当初の支援予定数15家庭を上回り24家庭への支援が実現した。この背景には、今年度協働提案事業として、和光市の事業となったことで、広報手段が拡大したこと、信頼度が上がったこと、保健センター事業(健診、赤ちゃん全戸訪問)や養育支援訪問事業との連携が深まったこと、周知活動を盛んに行ったこと(活動報告会ほかに対象別の説明会開催等)がある。 ・多胎育児家庭、年子、外国籍の家庭、転居してきた家庭などが今年度の利用者としては目立ったところだった。なかには未対応の困難なケースもあり、行政との連携を図りながら支援につなげることができた。 ・コープみらい主催の周知研修に協力したり、埼玉ホームスタート推進協議会の埼玉県域でのホームスタート周知活動及び県域での子育て支援活動に世話役として協力した。</p>
--	---

2 添付書類

- (1) 和光市協働事業収支決算書(様式第9号)
- (2) 協働事業の実施に要した費用の出納簿等の写し
- (3) その他市長が必要と認める書類

和光市協働事業収支決算書

団 体 名	NPO法人 わこう子育てネットワーク
-------	--------------------

(収入)

区 分	決算額 (円)	説 明
和光市協働委託費 自己資金	1,000,000 7,857	和光市ホームスタート事業 自団体負担金
合 計	1,007,857円	

(支出)

区 分	決算額 (円)	内 訳
謝礼	208,931	養成講座講師、トラスティ会議出席、 フォローアップ研修講師、スーパービジョン、 活動報告会コメンテーター、事例報告、
交通費	135,360	講師交通費、ビジター交通費等
印刷費	36,010	養成講座チラシ、活動報告会チラシ、訪問シート 封筒
消耗品費	19,906	ファイル、名札、コピー等
通信運搬費	24,190	養成講座案内送付、電話プリペイドカード等
人件費	552,440	オーガナイザー人件費
研修参加費	21,600	ビジターフォローアップ講座、オーガナイザースキルアップ講座
交際費	3,220	OGスキルアップ研修参加時の手土産代
会議費	4,400	ビジターフォローアップ講座時の弁当代
支払手数料	1,600	振込手数料、代引き手数料
租税公課	200	収入印紙
合 計	1,007,857円	交際費と会議費 (弁当代) は対象外経費のため 自己資金で負担
(うち対象外経費)	7,620円	